

目次

I プランの目的と位置付け	p. 1
1 プランの目的	p. 1
(1) 教育の情報化の加速化に合わせた対応	
(2) 県全域で等しく質の高い教育を受けられるための環境整備（ICTによる学びの変革）	
2 プランの位置付け	p. 2
(1) 学校教育情報化推進計画として位置付け	
(2) 計画の改訂等	
(3) 計画の期間等	
(4) 市町村教育委員会及び学校における対応	
II 本県における教育の情報化の方向性	p. 3
1 鹿児島県教育振興基本計画における位置付け	p. 3
2 これからの社会の動向	p. 3
(1) 社会全体の動向	
(2) 本県の動向	
3 本県の児童生徒を取り巻く現状と課題	p. 5
(1) 学力の状況	
(2) 主体的に学ぶ力・考える力	
(3) 協働的に議論する力・納得解を生み出す力	
(4) ICTの活用状況	
(5) 不登校・特別な支援を要する児童生徒の状況等	
4 本県の学校・教職員に係る現状と課題	p. 6
(1) 学校の状況	
(2) 教職員の状況	
5 本県における「令和の日本型学校教育」の構築に向けて	p. 7
(1) 本県における「令和の日本型学校教育」の実現に向けた方向性	
(2) 児童生徒に身に付けさせるべき資質・能力	
(3) 目指すべき学校の姿	
(4) 目指すべき教職員の姿	
(5) 鹿児島教育DX（鹿児島県の教育資源とICTのベストミックスによる学びの変革）	
【解説①】鹿児島県の教育資源とICTのベストミックス	
【解説②】オール鹿児島	
【解説③】誰一人取り残さない	
【解説④】鹿児島教育DXに向けて	
III 本県における教育の情報化の推進に当たって大切にすべき視点	p. 12
1 児童生徒の力を育む手段としてのICT活用	p. 12
(1) 児童生徒の資質・能力の育成のためのICT	
(2) これまでの教育実践とICTによるベストミックス	
(3) ICTの活用に積極的に取り組む姿勢	
2 デジタル社会における「リアルな体験」と「つながる経験」	p. 13
(1) リアルな体験の重要性	
(2) 「リアル」と「デジタル」のベストミックス	
(3) 人と人との協働を加速化させるためのICT	
(4) 「つながる」道具としてのICT活用	
3 1人の100歩ではなく「100人の1歩」の積み重ね	p. 15
(1) 教職員も「誰一人取り残さない」	
(2) 鹿児島ならではの文化・風土を生かした教え合い・学び合い	
IV 具体的な施策	p. 16
1 変化の激しい社会（デジタル社会）を「生き抜く力」を身に付けた児童生徒の育成	p. 16
(1) 社会の変化に対応できる情報活用能力の育成	
(2) デジタル社会へ積極的に参画できる力を育む情報モラル教育の充実	
(3) 将来の可能性を広げ、論理的思考力を育むプログラミング教育の充実	
(4) 健康面に留意し、適切にICTを活用できる態度の育成	
2 新たな学びを生み出す授業等の創造	p. 23
(1) ICTや情報・教育データを利活用した個別最適な学び・協働的な学びの加速	
(2) やむを得ず登校できない児童生徒に対する学びの保障等	
(3) 障害等による学習上又は生活上の困難さを改善するICT活用の促進	
3 教職員のICT活用指導力の向上	p. 28
4 校務の情報化の推進	p. 30
5 学校におけるICT環境の整備と維持管理	p. 32
(1) 教育の情報化を支える基盤整備	
(2) 個人情報・情報セキュリティの確保	
(3) 教育の情報化を推進・支援するための体制整備	